ホテル エーゼット
HOTEL AZ だより

Vol.14
令和5年9月号

ご自由にお持ち帰りください

板野町の木
「あせび（馬酔木）」の花

緑豊かな山あいにある天然温泉です

人・時めぐり逢い紀行⑨

大和朝廷時代にさかのぼる官道である「南海道」が通っていた板野町は、道の駅や温泉、四国八十八カ所霊場やプロサッカーのクラブハウスなどがあり、今も人や美味しいもの、情報が行きかう活力に満ちたまち。10月6日（金）、同町にホテルAZがオープンします。泊りがけで板野町を味わってみませんか！

［発行問い合わせ］
株式会社アメイズ 福岡事務所
TEL:092-605-3321 FAX：092-605-3335
〒811-0213 福岡市東区和白丘2-3-2
令和5年6月発行 発行責任者 穴見 賢一（代表取締役社長）

板野町は徳島県北東部に位置し、北には阿讃山脈、南には吉野川平野が広がる豊かな緑と田園に囲まれた、人口約１万３千人、総面積36.22㎢の町です。

「あすたむらんど徳島」全景

人時邂逅（ひときかいこう）

玉井 孝治（徳島県 板野町長）
Koji Tamai

1951年生まれ、徳島県板野町出身。板野町役場教育次長や総務課長などを経て、2009年、板野町長就任。同年、「子育て日本一の町へ」というスローガンのもと、全国に先駆けて子育て支援策をスタートさせる。現在4期目。

穴見 賢一（株式会社アメイズ 代表取締役社長）
Kenichi Anami

1970年生まれ、大分県佐伯市出身。2016年『ホテルAZ』を全国86店舗展開する『株式会社アメイズ』代表取締役社長に就任。柔道初段。趣味はロードバイク、カメラ、ラジコン（車、飛行機）。

グルメ三昧と週末イベント「道の駅いたの」

玉井　板野町の地方創生の中核拠点として位置づけられる「道の駅いたの」がオープンして2年が経過しました。オープン以降、売上で約14億6千6百万円。レジ通過者で約85万3千人の来駅者がありました（令和5年5月末現在）。令和3年度と4年度を比較して、来場者では2.8%、売上額では10.6%増です。週末には多彩なイベントを開催するなど、四国観光の窓口として県内外からご利用いただいています。

穴見　私は昨日、板野町入りしまして、「道の駅いたの」で昼食をとったのですが、まず目が行くのが海鮮系のメニューの充実です。しかも手ごろな料金で、新鮮な海の幸がたっぷりいただけて大満足でした。人気が出るのが分かります。

1 道の駅いたの
板野のおいしいもの、珍しいもの、徳島の物産が一堂に!

徳島県内の農家さんや漁師さんが持ち寄るとれたて商品の直売所です。「恵食堂～海と畑～」は道の駅いたの併設の食堂。海鮮、丼もの、麺類などメニューも充実。豪華なのにお手頃価格です!

玉井　ありがとうございます。道の駅の隣に今年10月6日、御社のホテルがオープンしますね。本町にとってホテル誘致は町政始まって以来の念願でした。御社は全国展開されておられますが、「ホテルAZ徳島板野店」で何店舗目になるのでしょうか？

穴見　87店舗目です。

玉井　そうですか。本町の道の駅は、四国で88番目なんです。ホテルAZさんがもう一店舗あったら88でシンクロしていましたね（笑）。

穴見　徳島板野店は88番目の店舗ということもできるんです。一店舗目は当社のビジネスモデルに合わずに売却したという経緯があります。しかし、当社が手がけた店舗という意味では、88番目という話はできると思いますよ。

玉井　それはいいですね。お四国さんも88番ありますし、ゆかりのある数字ということで「道の駅いたの」のロゴマークも「88」をデザインしたものです。

穴見　このロゴマークはインパクトがあって良いですね。オレンジ色を採用した理由は何ですか？

玉井　町の基幹産業は農業です。特に春一番は全国で一番の生産量を誇ります。ロゴマークは一番の輪切りを四つ並べたものなんです。

穴見　面白いですね。

玉井　ほかにシロウリ、カブ、レンコンの生産も盛んで、旬のさまざまな農産物を使って商工会青年部が商品開発した漬物「つけもの侍いたのすけ」も人気です。また、町内に10軒余りのモモ農家さんがいらっしゃって、夏季はモモが旬を迎え、晩夏からはナシ、ブドウ、カキ、春はイチゴと一年を通して美味しいフルーツが生産されています。

3 板野町田園パーク 町民スポーツガーデン
さまざまな大会や練習で使われる人工芝のサッカー場

令和４年４月に完成した人工芝のサッカー場で、徳島県サッカー協会および徳島ヴォルティスユース他クラブチーム等による練習や大会で利用されています。

徒歩やサイクリングで温泉や軽登山が楽める！

玉井　「道の駅いたの」やホテルAZさんのある場所は、神戸や岡山、愛媛、高知方面との交通アクセスがよく、県外からの「道の駅」利用者もかなりいらっしゃいます。

穴見　そうなんですね。

玉井　県外者の割合は車のナンバーからの計数ですが、週末で約50%、平日で約30%です。また、国土交通省による「高速道路を降りて道の駅に立ち寄り、2時間以内に高速道路に再進入した場合、下りずに利用した料金のまま」となる制度も施行される予定です。

穴見　制度が施行されると、さらに「道の駅」利用者が増えそうですね。車社会に対応するために駐車場が確保できて、交通の要衝となる板野町は、当ホテルにとって条件を満たした立地でした。

玉井　交通という観点でいえば、もともと板野町は阿波と讃岐を結ぶ「南海道」の途中にあり、江戸時代や明治時代の交通手段であった馬を休ませたり、水を飲ませたりする「馬屋」がありました。今の電車とすると、馬屋は「駅」にあたります。道の駅を中心にした町づくりの背景には、南海道を復活させたいという思いもあるんです。

穴見　車で走ってみましたが、まさに山の中に街道があって、昔は峠を越えていたんだなと想像ができました。板野町には、四国霊場三番から五番もありますし、時空を超えた旅ができそうです。他におすすめの観光スポットはありますか？

玉井　「あせび温泉」は、おすすめです。お肌がツルツルになりますよ（笑）。

穴見　道の駅に足湯がありますが、それも「あせび温泉」のお湯ですか？

玉井　そうです。足湯が気に入ったら、道の駅のレンタサイクルを利用して、ぜひ本物の「あせび温泉」にも行ってみてください。ハイキングコースとしては高尾山という山があります。「道の駅いたの」から北へ約2.5㎞のところに駐車場完備の登り口があります。標高261mで、1.3㎞ほど歩けば山頂に至る手頃なハイキングコースとして人気を集めています。

穴見　「道の駅いたの」が観光拠点になっているわけですね。

玉井　ホテルAZさんのオープンによって町内に宿泊でき、滞在時間が長くなることでより深くさまざまな魅力を味わっていただけるようになるでしょう。また、これはさっそく効果が出てくることだと思うのですが、4月に「板野町田園パーク町民スポーツガーデン」に町内2カ所目となる人工芝のサッカー場が完成し、「徳島スポーツビレッジ」と併せて高校総体のサッカーの競技場として利用され、徳島県内の大小の大会を含めてすでに54くらいの大会が開かれています。町としては、県のサッカー協会と連携を取りながら大会の誘致活動に注力しています。これまで選手や関係者の方々は徳島市内に泊まって板野町に移動していましたが、ホテルができることで利便性が高まり、町も活性化します。

穴見　非常にありがたいお話だと思います。プロスポーツはファンのみなさんが遠征をすることもありますし、アマチュアのスポーツ大会もたくさん行われています。当ホテルはスポーツ団体のご利用が多く、貢献できるところだと思っています。

玉井　スポーツに関して、穴見社長はサイクリストでいらっしゃるとのことですが、板野町は、約400自治体で構成される「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会」に加入させていただいています。近隣の南あわじ市、鳴門市や徳島県などと共に、自転車で四国一周などを楽しむ方を呼び込む施策にも取り組んでいるところです。

穴見　そうなんですね。私のように趣味で自転車に乗っている立場から常々感じていたことですが、自転車を部屋に持ち込み可能にしたほうがお客様も使いやすいんじゃないかということで、当社のホテルは全店、自転車持ち込み可にしています。自転車は高価なものもありますし、その人にとってはかけがえのない相棒です。外に置いておくと盗難やいたずらの被害が心配で落ち着かないという方もいらっしゃいます。部屋に置け、心配がなくなると泊まる快適さも向上すると考えました。

玉井　板野店もそういった機能は持たしていただけるのですか。

穴見　もちろんです。そんなに広い部屋ではないので、持ち込んだ分は狭くなると思いますが、仮に壁などにタイヤの黒い跡がついてもすぐに落ちますので、極力汚さないように注意していただければ部屋の中に持ち込んでいただいて結構です。

玉井　また、徳島県といえば、毎年お盆に開催される阿波踊りが有名です。期間中はどのホテルの宿泊料金もグンと高くなるのですが、ホテルAZさんは一年を通じて同一料金とお聞きしました。

穴見　はい、その通りです。365日同一価格にすることでお客様にお財布の安心感も提供できると考えています。

玉井　ホテルAZさんの誕生で、これから町にどんな変化が起こっていくか楽しみです。町としても応援をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

穴見　こちらこそ長いお付き合いをよろしくお願いいたします。

2 あせび温泉 やすらぎの郷
道の駅いたの足湯（無料）でも楽しめる美湯!

アルカリ性の温泉で、入浴後はツルスベお肌に。源泉薬湯やミストサウナとドライサウナを完備。タオルの貸し出し（有料）があるので手ぶらでどうぞ!周囲を囲む緑の景色にも癒されます。

4 徳島スポーツビレッジ
Jリーグの徳島ヴォルティスのクラブハウスも!

サッカーを中心としたスポーツ普及、子どものスポーツ育成の場所。徳島ヴォルティスの施設もあり、選手が練習しています。公開練習日には観覧が可能。

5 南海道と大坂口御番所跡
現代によみがえる謎の古道!?

板野町には大坂峠という峠を含む古道があります。この道は江戸時代、徳島藩によって設置され、明治５年に廃止されるまで240年間、阿波と讃岐間の人や物の出入りの取り締まりを行っていた関所跡があり、今も代々番所役人が居住していた建物が残っています。歴史を感じる石畳の道があったり、明治期の道路を横切ったりと徒歩2時間30分の旧道探索の旅の道になっています。

6 高尾山
1.3㎞で山頂へ行ける手軽な登山コース

高尾山は標高261mの山。登り口は三つあり、「川端登り口」は、徒歩25分の初心者コース。アップダウンはありますが、楽しみながら登山できるのは「平山登り口」。「道の駅いたの」から北へ約2.5㎞のところにある駐車場完備の奥宮登り口（要確認）は、徒歩40~50分。上級者コースです。

7 阿波藍と藍染庵（あいぜんあん）
板野町に徳島藩内で最も重要な関所があった理由とは?

犬伏久助木像

その理由はズバリ、徳島藩が染料の「藍」の持ち出しに目を光らせるためです。徳島の藍は阿波藍と呼ばれ、徳島藩を潤す重要産業でした。この藍染料の製造方法を改良し、高品質「本藍」としてブランド化に成功させた立役者が板野町の藍農家に生まれた犬伏久助です。久助は製法を自分一人のモノとせず、弟子の指導や普及に尽力し、阿波藍の発展に貢献しました。

8 四国八十八か所霊場
町内に第三番、四番、五番札所があります

五番札所「地蔵寺」とイチョウの木

水面に顔が映れば長生きできるといわれる金泉井戸のある四国霊場三番「金泉寺」、33の千手観音像が並ぶ四番「大日寺」、樹齢約800年の大イチョウがある五番「地蔵寺」が町内にあります。お遍路さんをねぎらう「お接待」の風習は、優しい町民性として今も息づいています。

9 あすたむらんど徳島
科学と自然を学べる県立アミューズメントパーク

展望広場と風車

水しぶきを浴びるのも楽しい「吉野川めぐり」

自然あふれる外国の庭園のような空間に、さまざまな科学遊具や子ども科学館、プラネタリウムがあります。令和３年には「徳島木のおもちゃ美術館」がオープンし、赤ちゃんから高齢者までが楽しむ集いの空間となっています。

板野町NEWS

板野町とホテルAZが災害時における宿泊施設の提供による協定を締結

板野町役場庁舎にて（令和5年７月20日）

「安心」「安全」のまちづくり

今年７月、板野町役場庁舎で、板野町とホテルAZによる「災害時における宿泊施設の提供による協定」の締結式が行われました。ホテルAZ板野店（今年10月6日オープン）に隣り合う「道の駅いたの」は「防災道の駅」として認定されています。ヘリポートや耐震性飲料用貯水槽、避難所兼備蓄倉庫などを整備し、アマチュア無線通信室を設置して、災害時の第二の通信手段として情報収集できるようにするなど、防災面でも町の重要拠点です。「災害時におけるホテル施設の提供による協定を締結できたことで、災害時の町民の生活の早期回復、安定が図られることになり、大変ありがたく思っています」と玉井町長。板野町は、津波の被害を受けにくい立地で、広大なエリアがあることも強みです。例えば南海トラフ地震のような大災害時は、復興支援の集結場所として機能できます。災害に強く、交通の要衝となっていることなどを背景に、「板野IC」付近には、農機具メーカーの中四国クボタ、サカイ引越センター、コープ自然派、「道の駅」周辺ではスズキ自販徳島など多くの企業が事業所を展開しています。

「街の幸福度ランキング」四国一位!

同町は他の自治体に先駆けて「子育て支援」を実現したことでも知られています。平成28年に保育園、幼稚園の保育料、授業料の無料化を実施し、翌年にそれまで減少していた人口が2名増加に転じたそうです。「安心」「安全」な町づくりも加速する中、令和4年に大手住宅メーカーが実施した調査では「街の幸福度ランキング」四国一位、また「住み続けたい街」で四国二位にランキングされています。人口減少は他の自治体に同様、今も大きな課題とのことですが、板野町を訪れると、町のあちこちで賑わい、あるいはその兆しを感じることができます。当ホテルが少しでもその一翼を担えれば幸いです。

（穴見　賢一）